

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年8月30日（金） ～ 9月1日（日）

2 確認箇所

1 / 2号機排気筒（1 / 2号機開閉所、8.5m盤等から確認）

3 確認項目

1 / 2号機排気筒解体工事の状況

4 確認結果の概要

1 / 2号機排気筒解体工事については、8月1日に着手され、これまでも現場状況を確認している。（確認日：8月1日、5日、7日、21日）

8月21日には、チップソーの動作不良により工事が中断していたが、ケーブルの圧着再施工や接続部の点検等を行い、これらの作業が完了したことから、8月30日に工事が再開されたため、作業の状況を確認した。

なお、予定では頂部ブロックの切断は8月30日のうちに完了する予定であったが、機材トラブル等によりたびたび中断したため、2日遅れの9月1日に完了した。

(1) 8月30日の確認結果

<確認結果の概要>

排気筒切断は、まず周方向の切断（8月7日時点で排気筒筒身断面の48%切断済み）を実施してその後縦方向の切断を行い、切断した頭頂部を地上に吊り下ろす予定であったが、トラブル等により周方向切断の途中で作業が中断となった。なお、8月30日時点で、筒身断面の93%の切断が完了した。

<現場での確認内容>

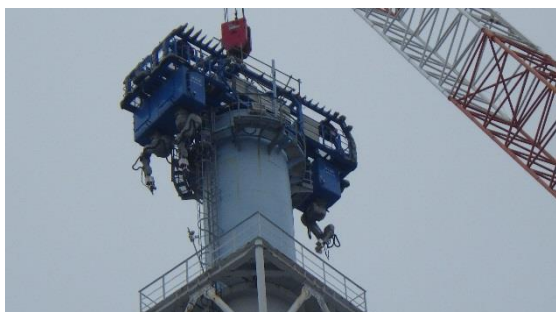
- ・ 10時30分頃、1 / 2号機開閉所前から現場を確認したところ、解体装置が排気筒の頂部に設置され、切断の準備が行われていた。（写真1）
- ・ 13時30分頃、1 / 2号機開閉所前から現場を確認したところ、排気筒の頂部から切断音が聞こえ、切断作業が実施された。（写真2）
- ・ 14時30分頃、3、4号機前高台から現場を確認したところ、切断音が聞こえなくなっていた*。

*東京電力によると、通信障害が発生したため作業が中断されたとのことであった。（16時35分頃復旧）

- ・本日の作業で筒身断面の93%の切断が完了した。なお、夜間に解体装置で電流値が上がり切断ができなくなったため、作業を中断し今後の切断方法の検討を始めた。



(写真1)
11時01分頃撮影
(切断の準備中)



(写真2)
13時51分頃撮影
(筒身切断中)

(2) 8月31日の確認結果

<確認結果の概要>

前日に発生した解体装置のトラブル対応後に切断作業が再開され、一部の切断作業が実施された。

8月30日時点ではまず周方向の切断を行いその後に縦方向の切断を行う予定であったが、検討の結果、縦方向(4箇所)の切断を行い、その後に周方向切断を行うこととなった。

本日の作業では筒身断面の切断は進捗しなかったが、縦方向4箇所のうち3箇所の切断作業が完了した。また、夜間に筒身解体装置の主発電機が燃料切れのため停止し、副発電機も起動しないことから、明朝に搭乗設備を用いて解体装置に燃料補給を行うこととなった。

なお、本日は現場確認は行わず、新事務本館で情報収集を行った。

(3) 9月1日の確認結果

<確認結果の概要>

前日に発生した主発電機の燃料切れ等への対応のため、作業員3名が搭乗設備を用い排気筒頂部で作業を行いトラブルの対応を行った。

トラブル対応後は縦方向の切断作業が再開され、切断完了後は頂部ブロックの吊り下ろし作業が開始され、2号機原子炉建屋西側の仮置きヤードに着座した。

<現場での確認内容>

- ・ 6時30分頃、事務本館付近から現場を確認したところ、搭乗設備が解体装置の端に接合し固定され、作業が開始されていた*。(写真3)
 - ※東京電力によると、7時50分頃排気筒頭頂部での作業が完了し、11時50分頃各種装置の点検後切断作業が再開された。
 - ・ 15時10分頃、3、4号機前高台から現場を確認したところ、縦切り及び周方向の切断が完了し、吊り下ろし作業が実施されていた。(写真4)
 - ・ 16時10分頃、2、3号機原子炉建屋付近から現場を確認したところ、切断された排気筒頂部が仮置きヤードに着座していた。(写真5)
- なお、解体前後の排気筒は写真6のとおり。



(写真3-1)
6時41分頃撮影



(写真3-2)
写真3-1赤丸印拡大
解体装置の端に接合し固定され、安定した状態で作業が行われた



(写真4)
15時36分頃撮影
解体装置に把持され吊り下ろされる頂部ブロック。



(写真5)
16時15分頃撮影
赤丸部分に頂部ブロックが着座している



(写真6-1)
解体前の排気筒 (8月1日撮影)



(写真6-2)
解体後の排気筒 (9月1日 16時
28分頃撮影)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。